

《2017年度 第3回定例運営委員会報告書》

日時：2017年7月12日（水） 18:45～20:30

場所：名古屋市音楽プラザ（中区金山1丁目）Tel 052-331-6041

出席：犬塚裕道、川島善信、竹淵知博、丹羽 功、松島大樹、武藤美喜、吉田廣嗣、木枝義雄（監査）

委任：浅野芳夫、大矢英和、奥山陽一、佐藤孝郎、溝口修一

欠席：なし

◇議事の概要

定刻になり、支部長丹羽 功が議長席に着き、18時45分に開会を宣して議事に入った。

（1）報告事項

第1号報告「月次会計報告6月」（丹羽支部長）

・会計担当大矢委員が別紙で提出した6月分の月次会計報告書を、大矢委員が欠席のため代わって丹羽支部長が説明して報告した。

・報告以降にプロ音響機器フェアPLUS分の2社からの入金及び、CTV新社屋見学会の手土産代の支出があった。

第2号報告「中京テレビ新社屋見学会報告」（武藤実行委員長）

・武藤実行委員長が事業報告書を別紙で提出し、説明して報告した。

・見学会等を法人に依頼する場合、次回より法人の日本音響家協会中部支部として正式な「依頼書」を作成し、運営委員会の承認を得て先方に提出するという手順を踏むこととした。

（2）審議・決議事項

第1号議案「プロ機器フェアPlus mid-2017 in NAGOYAについて」（丹羽支部長）

・溝口実行委員長が実施計画書及び実施要領を別紙で提出し、溝口委員が欠席のため代わって丹羽支部長が説明し、原案通り承認した。

・実施要領B-02の協会準備機材の手配者については、丹羽支部長より溝口実行委員長へ確認し改めて実行委員に連絡することとした。

・今後、支部でチラシ等を作成した際には運営委員にメールでの報告を行うこととした。

・事業の周知が不足しているという意見があり、実行委員会が至急メールニュースを協会員に送付することとした。

第2号議案「邦楽セミナーについて」（丹羽支部長）

・佐藤実行委員長が「第15回邦楽セミナー」の実施要領を別紙で提出し、佐藤委員が欠席のため代わって丹羽支部長が説明し、原案通り承認した。

第3号議案「SETビギナーズコースの名古屋開催について」（丹羽支部長）

・大矢実行委員長が、SETビギナーズコースの実施要領に関する質問事項を本部へ確認した内容の報告を、大矢委員が欠席のため代わって丹羽支部長が説明し、実施に向けて進めることとした。

・実施に当たっては支部で講師を擁立し、受講者数の確保と経費削減等の検討が必要。

・受講希望の多い専門学校へ、希望日程の候補を上げていただくよう依頼している。

第4号議案「『プロ音響機器フェア in NAGOYA 2018』執行の承認について」（犬塚実行委員長）

・犬塚実行委員長が、2017年度事業「機器展 2018」の事業計画書を別紙で提出し、仕込み日が全日使用出来るため、午後からロビー展示を公開することで出展各社の了承を得て、実施することとし執行を承認した。

第5号議案「機関紙の特集について」（川島編集長）

・川島編集長から、特集テーマを募集したところ三案の応募があった旨の報告があり、そのうちから竹淵委員提案の「FIRフィルターとは？」に決定した。

・編集委員会にて編集方針を決めて10月までに執筆依頼を行い、年内に初稿を完成させることとし、竹淵、犬塚両委員も編集委員に加わることとした。

第6号議案 その他の決議事項

(1) ホール100選の推薦について

溝口修一委員から名古屋市芸術創造センターをホール100選に推挙する推薦書の提出があり、協議の結果運営委員会としても異議が無いことを確認して承認した。

(2) 役員ガイドブックについて

中部支部の新任役員のために、日本音響家協会の機構及び中部支部役員の職責と職務について解説する「支部役員ガイド」を監査が作成して提出し、現役役員の再確認を含めて今後の支部運営の参考書類とすることとした。

以上 報告者 支部長 丹羽 功

<次回運営委員会9月12日(火) 音楽プラザ控え室>